

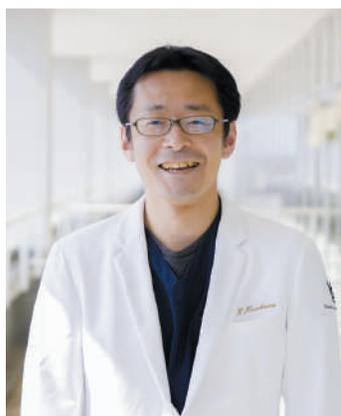
骨粗しょう症は
自覚症状なく進行し、
ある日、突然骨折が起こり、
手術や寝たきりになる
可能性がある病気です。



当院では2022年度より、リハビリテーション科の細川 浩医師を中心に「骨粗しょう症チーム」を発足し、地域にお住まいの皆様の健康支援の一貫として、骨粗しょう症の診療を実践しています。

骨粗しょう症は無症状であることが多く、自覚症状が無いまま進行し、ある日突然骨折が起こって手術や寝たきりになる可能性がある病気です。そのような方を増やさないために、『骨粗しょう症外来』では骨粗しょう症の予防や治療を行います。

まずはお気軽にご相談ください。



骨粗しょう症外来 担当医

ほそかわ ひろし
細川 浩 医師

【専門】リハビリテーション科／整形外科

- 日本リハビリテーション医学会
リハビリテーション科専門医・指導医
- 日本整形外科学会整形外科専門医・脊椎脊髄病医
- 厚生労働省麻酔科標榜医
- 社会医学系専門医協会専門医・指導医
- 日本骨粗鬆症学会認定医

診察日／毎週月曜 **午後** ・ 毎週火曜 **午前** ※予約制

骨粗しょう症外来

骨粗しょう症セルフチェック [詳しくはウラ面を!](#)

あなたは大丈夫？ /

骨粗しょう症 セルフチェック

当てはまる項目をチェックしましょう

- 過去に骨折をしたことがある
- 20歳の頃と比較して背が低くなった
- 転倒が多くなった
- 母親や祖母が過去に骨折をした
- 糖尿病やリウマチなどの通院歴がある
- ステロイドの内服歴がある
- 過去に骨粗しょう症の治療をしていた

項目に当てはまる方は、積極的な受診をおすすめします。

骨粗しょう症は、遺伝・加齢・生活習慣・閉経（女性のみ）の影響をうける病気です。また、何らかの病気でステロイドを内服されている方、糖尿病や慢性腎臓病や慢性閉塞性肺疾患を有する方にも多い病気です。50歳以上の方や、今まで骨折歴のある方は積極的な受診をおすすめします。また、若い方でも「続発性骨粗鬆症」と言って、何らかの病気で骨粗しょう症になる（リウマチ治療でのステロイド薬内服や糖尿病など）可能性もありますので、気になる方は一度ご相談ください。



検査・治療について

検査方法

基本の検査は、採血・レントゲン・骨密度測定です。



X線骨密度測定装置（ホロジック社製）

2022年2月に導入した最先端の骨密度測定装置。DXA法（デキサ法）を用いて、腰椎と大腿骨の高精度な骨密度検査を行います。

治療方法

「骨粗しょう症チーム」が連携し、薬物治療を中心に、栄養指導、転倒予防を含めた運動療法、生活習慣指導などを行います。

私たちがサポートします！ /



骨粗しょう症チーム

メンバーは医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、管理栄養士、リハビリスタッフなどで構成されており、それぞれの立場からサポートを行います。

ご予約・お問い合わせ



医療法人 田中会

武蔵ヶ丘病院

〒861-8003 熊本市北区楠7丁目15-1

Tel.096-339-1161(代表) Fax.096-339-4717(代表)

096-339-1155

予約時は「骨粗しょう症外来を受診」の旨をお伝えください。

●ご予約は受診希望日の前日までに、ご連絡をお願いいたします。

骨粗しょう症外来について
Webにも掲載中です！ /



武蔵ヶ丘病院
ホームページ